

## 調査報告書

- 1 とき：2011年6月16日
- 2 行先：東築地小学校・港区役所・港防災センター
- 3 参加者：山口清明議員、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容
  - ① 名古屋市立東築地小学校（指定避難所）訪問
    - ・避難所としての役割、体制、状況などを教頭先生に聞き視察調査した。
    - ・4階建て校舎の屋上が避難所で、地面より16.2Mの高さにあり、全校生徒696名+100人以上が入れる。通常は階段に鍵チェーンがかけられ、屋上の扉にも鍵がかけられている。予備の鍵は北側の2世帯にも保管されている。
    - ・避難訓練は毎年2回。（9/1地震訓練・12月津波訓練）①机下一時避難②津波来る場合は3.4階に避難／運動場避難③親への引きわたし
    - ・今年度9/1は地震と津波両方の訓練を実施し、屋上避難に変更する。  
小学校の海に面した所には防波堤があり、伊勢湾台風の時の浸水位を示すポールがあった。
  - ② 港区役所総務課長より  
名古屋市臨海部防災区域の説明  
〈NP表示電柱について〉  
電柱の数…1734本  
取付基準…① 中部電力の電柱  
② 帯が見やすい場所の電柱  
去年より6年で1周するよう見回り（以前は3年で1周）  
毎年、委託で頼み見直し等実施  
NP+1M もも色  
+2M 黄  
+3M 緑  
+4M 空色  
+5M 茶色  
+6M 紫  
+7M 赤  
+8M 青
  - ③ 名古屋市港防災センター

〈センター長と対談〉

- ・震災後、来場者増加
- ・震災が起きたから何かするという事はしていない。市より指示があれば行  
うが、センター独自で云々はしない。
- ・施設の役割は、市民の方々に施設を利用して防災知識をお知らせする事
- ・伊勢湾台風の被害が最も大きかった地ということで、ここに防災センターを  
建てた。だから津波の展示はない。いまある施設を活用して市民にお知らせ  
する。
- ・地震体験・伊勢湾台風3Dバーチャル体験・消防ヘリ試乗体験・施設見学  
で、施設の役割をセンター長の説明を受けながら体験した。